

# 目次

## 緒言

(1) 記述の指針	一
(2) 方法論について	四
(3) 参考文献	六
(4) 叙述と表記上の注意	三
I 主語・主部	
(1) 主語	一六
(2) 主部	一七
(3) 動詞の体言化	三三
【演習問題一】主語・主部	二六
II 述語・述部	
(1) 動詞	三〇
A 基本的な注意	三〇
B 古文書・古記録に独特の動詞	三三
C 接頭語	三三
(2) 形容詞・形容動詞	三四
(3) 助動詞	三五
(4) 補助動詞・終助詞	三七

【演習問題二】 述語・述部	六二
補足 文書の書き止め文言	六四
【演習問題三】 文書の書き止め文言	九五
<b>Ⅲ 修飾語・修飾部</b>	
(1) 目的語・目的節	一〇〇
A 代名詞としての「之(これ)」	一〇〇
B 目的語を導く語	一〇二
(2) 副詞と連用修飾	一〇六
A 多用される副詞	一〇六
B 連用修飾節を導く語	一〇五
【演習問題四】 修飾語・修飾節	一〇六
<b>Ⅳ 接続語・接続部</b>	
(1) 接続詞的に用いられる語	一〇五
(2) 接続助詞的に用いられる語	一〇七
【演習問題五】 総復習	一〇七
演習問題《解答》	一〇八
後記	一〇九
別表 主要な助動詞・補助動詞の複合的な使用と接続のしかた	一一〇
頭字索引	